

競技注意事項

1. 規則について

本競技会は 2026 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに、本大会要項により実施する。

2. 競技場使用上の注意

1) 芝生内での練習は、投擲種目実施時間を除いて可能とする。

3. 競技者の招集について

1) 一次招集はホームスタンド中央のテントにて行う。

2) トラック種目は競技開始 35 分前から 20 分前までに一次招集を受け、その後競技開始 5 分前に現地での最終コールを行う。

3) フィールド種目は競技開始 30 分前に現地での最終コールを行う（一次招集は行わない）。

4. アスリートビブスについて

1) **アスリートビブスは主催者側で用意する。**

2) 跳躍種目出場者は胸または背のみの着用を認める。

3) 腰ナンバー標識は一次招集の際に主催者側から配布する。

4) 弊社 4 年生は胸に名前入りゼッケンの着用を認める。背は番組編成記載のナンバーを着用すること。

5. 用器具について

1) 競技に使用する用器具（投てき物を含む）は、主催者が用意したものを使わなければならない。

2) 投てき物の持ち込みを希望する場合は、競技開始時刻の 90 分前から 60 分前までにホームスタンド中央のテントにて、公式計測員による検査を受けること。なお、検査に合格した投てき物は主催者で借り上げ、競技者全員が使用できるものとする。また、破損等については持ち込み者個人の責任とし、主催者が責任を負うことはない。

6. 競技について

1) トラック競技について

1. 計時はすべて電気計時（0.01 秒）を用いて行う。

2) 跳躍競技について

1. バーの上げ方は、国際規程を適用せず、競技者と協議して定めることとする。

2. 三段跳の踏切板は、12m・10m とする。

3) 投擲競技について

1. 男子は公認記録、女子は非公認記録として扱う

4) 試技回数について

1. やり投について、3 回の試技を行った後、トップ 8 による決勝試技 3 回を行う。

2. 男子走幅跳について、3 回の試技を行った後、トップ 3 による決勝試技 3 回を行う。

3. 男子三段跳について、3 回の試技を行った後、トップ 2 による決勝試技 3 回を行う。

4. 女子三段跳について、3 回の試技を行った後、トップ 1 による決勝試技 3 回を行う。

5. 女子走幅跳について、試技は 3 回とする。

5) 助力について

1. フィールド種目に出場している競技者に対して、録画映像を提供する者のすぐ近く（コーチングエリア近辺）であれば、録画した機材（ビデオ装置・携帯電話等）を競技者自身が手に取り、操作して確認することを認める。
2. コーチングエリアは各ピット設ける。詳細は競技役員の指示に従うこと。

7. 競技会に関する問い合わせ

慶應義塾體育會競走部 板倉 勝慶

Mail : keiotf.entry@gmail.com